

# 美ら島沖縄11

～ちゅらしまおきなわ～

読者  
プレゼント

抽選で計10名様に!  
#P18 check

沖縄と世界は  
音楽でつながっている

## 今日のPICK UP

1

サー  
ユイユイ♪

沖縄の音楽は  
いろんな国の  
チャンプルー

このご縁も  
中部から海を渡って  
やってきた楽器なんだよ

2

HAWAII

海外でも大ヒットした  
沖縄の歌もあるんだよ

ARGENTINA

SHIMAO〜♪  
♪TA〜YO〜

3

音楽で  
海外との交流が  
盛んになってきています

アジア各国の  
音楽関係者からも  
沖縄の音楽は  
注目されているんだよ

さらに詳しい内容は /  
P10をチェック!



特集 1 沖縄の新たな挑戦  
～那覇空港エリアに新たな産業集積を目指します!～

特集 2 11月は「児童虐待防止推進月間」!  
未来へと 命を繋ぐ 189(いちはやく)  
～児童虐待は社会全体で解決すべき問題です～

10/4 王城デニー沖縄県知事  
就任及び初登庁

王城デニー沖縄県知事が10月4日に初登庁し、多くの県民、職員に拍手で出迎えられました。  
午前には、県選挙管理委員会長の山本委員長から当選証書を受け取り、知事職務代理者である藤川副知事からの事務引継ぎを受けました。  
午後は、知事として初業務である県審判本部会議で陣指指揮を執り、その後、就任後初の記者会見に臨みました。



当選証書交付式



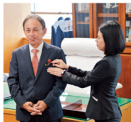
県庁に初登庁



新任記者会見



名刺を受け取る



知事室にて



事務引継



審判本部会議



沖縄県民審判本部会議

10/9 故議長雄志元沖縄県知事県民葬

8月8日に逝去された故議長雄志元沖縄県知事の県民葬が県庁（辻通都）で執り行われました。  
会場には3千人を超える県民が参加し、議長知事の遺徳を偲び、御冥福を祈念して、最後のお別れを惜しまないで、



御冥福を祈る県民



雄志元知事による遺像



県民葬の会場



会場に入行列する献花者



参加者全員による黙祷



新県民会議員による黙祷

## CONTENTS

- 02 黒政フラッシュ
- 04 特集1 沖縄の新たな挑戦  
～観光立地エリアに新たな産業集積を目指します～
- 06 特集2 11月は「児童虐待防止推進月間」!
- 08 島の動き① 「感動は無次元 南部九州総体 2019」の開催に向けて
- 09 応援します! 笑顔になれる子育て  
子育てをがんばる人へサポート!
- 10 シーラー先生が教える「世界とつながる講座  
沖縄と世界は音楽でつながっている」
- 12 島の動き② 11月は「伝統的工芸品月間」です!
- 13 沖縄21世紀ビジョン  
～さあ、再び世界へ～  
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の  
世界自然遺産登録の「延期」動向と再出発
- 14 情報ひろば
- 16 島の動き③ ゆるキャラ「がじゅ丸」誕生!
- 17 英語でまち案内  
宮古島市

### 沖縄の人口・世帯の動き

<b>総人口</b> 144万7,488人 ※前月比93.1人増	<b>世帯数</b> 59万2,155世帯 ※前月比767世帯増
--	--

平成30年9月1日現在

島の重要な行事はホームページでご覧いただけます。  
[沖縄県 県政トピック](#) [> 検索](#)

本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。  
[美ら島沖縄](#) [> 検索](#)

**美ら島沖縄の設置場所**  
 沖縄ファミリーマート、モルメロ各店舗で無料配布しています。また、公共機関や銀行、郵便局などのキオスクが利用する高層ビルにも設置されています。お取寄せも受付しておりますので、詳しくは各店舗までご連絡ください。なお、全県向けの戸別配布は致しません。ご了承ください。

**沖縄県知事公室広報課**

☎098-866-2020

Twitter @okinawa\_prof

Facebook /okinawa\_prof

QRコード

- ## September 9月
- 15日 若元百穂百穂あかり訪問  
（石垣島及び津堅島）
  - 19日 沖縄県立大学20周年記念大会  
新国立八重山病院開院式典  
K.O.B.E.三宮ひと街劇団草津島  
会館大劇団一氏が、喜川町草津島を  
沖縄県社会福祉推進協会へ寄付式  
平成29年度決算審査委員会開催
  - 20日 平成30年度の全国交通文通運動開始式  
県警察学校初任短期研修生60周年開式  
第10回沖縄むらびろひ（ひろひ）記念大会総合  
開会式
  - 23日 カブナー加糖A街区落成に伴う新たな  
バスターミナル出発式  
カブナー加糖A街区区役所祝賀式
  - 26日 沖縄子ども未来委員会議開催  
開会式（株式会社琉球新報社）
  - 27日 全国民生委員児童委員大会沖縄大会  
開催（防衛省防衛施設センター）

元元百穂百穂あかり訪問  
(9月15日)  
(上)石垣島(下)津堅島

沖縄子ども未来委員会議開催式  
(株式会社琉球新報社) (9月26日)

## October 10月

- 4日 玉城アワー沖縄県知事就任及び初登壇
- 5日 沖縄県災害対策本部会議
- 8日 ハワイ沖縄スタジアムアワー、玉城知事  
を祝賀
- 9日 故郷長郷元元沖縄県知事祝賀式  
宮崎光寛 沖縄及び北方対策大臣が、  
玉城知事と懇談
- 12日 安倍晋三 内閣総理大臣、菅義偉  
内閣官房長官が、玉城知事と懇談

沖縄県災害対策本部会議 (10月4日)

ハワイ沖縄スタジアムアワー、玉城知事を祝賀 (10月8日)

宮崎光寛 沖縄及び北方対策大臣が、玉城知事と懇談 (10月9日)





# 沖縄の新たな挑戦

航空関連産業クラスターの核となる航空機整備事業が開始します。

「那覇空港エリアに新たな産業集積を目指します！」

## アジアのニーズを取り込む 航空関連産業クラスター

県では、航空関連産業クラスターの形成を経済政策アジア経済戦略構想の重点戦略に位置づけています。

その拠点施設となる航空機整備施設が平成30年11月1日に供用開始します。いよいよ整備専門会社による事業が始まります。

今後、関連産業の集積を図る取り組みを推進するほか、アジアとの高速物流を実現する沖縄国際物流ハブと連携して、増大するアジア

のニーズを取り込み、沖縄、日本の航空関連産業の発展に貢献していきます。

## なぜ航空関連産業クラスター形成を進めるの？

航空旅客需要の増大により世界の航空機数は今後20年で倍増(図1)し、これに伴い、航空機整備需要もアジアを中心に著しく増加することが予測されています。(図2) また那覇空港は、豊富な国内路線数を有するとともに、国際線やLCCの就航も急増している。第2

滑走路が整備され、更なる需要拡大が見込まれます。こうした状況を踏まえ、県では、那覇空港内滑走路側(図3)に航空機整備施設を整備し、関連する企業の誘致を図り、航空関連産業クラスターの形成に取り組みます。

## 航空機整備施設って何？

施設の規模は、幅約190メートル、奥行き約100メートル、高さ約33メートルとなっており、大・中型機1機、小型機3機が格納できる大きさです。(図4)

当該施設では、航空機の整備を行うほか、大型格納庫においては、航空機体への特別塗装も行うことができます。(図5)



【図2 アジアのMRO需要見通し】  
単位：10億・105万%



出典：SOLVER STRONG 2015-2025 GLOBAL FLEET & MRO MARKET FORECAST(注)1(中国を除く)

【図1 世界の航空機数予想】  
単位：機



出典：E-COPILOT CURRENT MARKET OUTLOOK 2016-2026(注)1(中国を除く)

【図3 位置図】



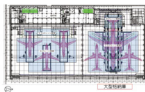
1) © Depra Data(注)1(中国を除く)

【図5 機体塗装】



写真提供：ANA

【図4 施設平面図】



※MROとはMaintenance(整備)、Repair(修理)、Overhaul(オーバーホール)の略で「航空機整備」のこと。

整備専門会社について

航空機整備専門会社であるMRO Japan株式会社(本社・那覇市)は、これまで大阪府伊丹空港格納庫を拠点に活動していましたが、平成30年11月より沖縄の航空機整備施設に入居しています。

現在、年明け平成31年1月の操業開始に向け、準備を進めているところです。

業務としては、航空機の定時整備、航空機の信頼性や快適性向上のための各種改修、機体の塗装や運航中に発生した損傷・故障に対する修理等を行います。

また同社は、田舎初のジェット旅客機三番リージョナルジェット(MRJ)のアジアにおける

## 施設に入居する 整備専門会社について



(図6 三番リージョナルジェット(MRJ))



三菱商事(株) 三菱航空機(株)

三菱航空機整備会社に選定されていて、将来的に同機体のアジアの整備拠点として、航空関連産業のクラスター形成促進の一層の効果が期待されています。

## 人材育成について

国立沖縄工業高等専門学校では、平成27年度から「航空技術者プログラム」を開設し、航空関連産業で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

同コースを修了した学生は、航空機整備専門会社のMRO Japan株式会社や航空会社の日本トランスオーシャン航空株式会社、ピーチアビエーション株式会社などに就職しています。

また琉球大学においても航空機を含むものづくり分野の技術者を育成しています。

航空機整備の数が増加し航空関連産業の集積が促進されると、航空機整備士も含めた航空関連産業に従事する人材育成・確保がと

## 今後の展開

今後、航空機整備から派生して、航空機に搭載する装備品やエンジン等の部品の保管や配送、整備に関するコンサルティング、研究開発、航空機関連産業に従事する人材育成など、さまざまな需要が見込まれます。

県では、こうした県内外の需要を

取り込むため航空関連産業クラスター形成に向けたアクションプランを策定する予定です。

同プランに掲げている①航空機整備拠点を拠点としたMRO産業の集積、②関連産業との連携による競争力強化、③人材の育成・供給機能の拡充、の3つの基本戦略に沿って関係機関と連携して取り組んでいきます。(図7)

(図7 航空関連産業クラスターイメージ図)



問い合わせ

企業立地推進課 電話：098-866-2770 FAX:098-866-2846



## 保護者の方へ

「子育てがうまくできずに自分を責めてしまったり」「イヤイヤして、つい子どもに当たってしまったり」「後悔する」「周りに助けをくれる人がいないなど、子どもに関しても悩みを抱えていますか。

このような場合はひとりで悩まず、地域の子育て支援センターや市町村の担当窓口、または児童相談所などに相談しましょう。適切なアドバイスを受けられるとともに、必要に応じた支援が受けられることがあります。

## 地域の方へ

児童虐待は、孤立した子育ての中で発生しやすいといわれています。児童虐待を防ぐためには、地域全体で子育て家庭を温かく見守り、支えていくことが大切です。声をかけたり、困っていたら助けをするなど、あなたのちょっとした優しさや心遣いが、大きな支えとなります。



## ●「しつけ」と「虐待」は違います。

しつけとは、基本的な生活習慣や社会のルール・マナー、他人への思いやりなど、生きていくために必要な事を子どもが身につけられるよう、子どもの発達や理解力にあわせて働きかけることです。子どもの人権を無視し、暴力などで子どもを傷したり、従わせたりすることではありません。たとえ保護者が「しつけのため」と思っている、その行為により子どもの心身を傷つけ、発達が阻害されるのであれば、それはしつけではなく虐待です。



## ●こどもには赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)

各市町村においては、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげる「こどもには赤ちゃん事業」を実施しています。

## ●赤ちゃんを揺さぶらないで!

赤ちゃんがなをやっても泣き止まない、イライラしてしまうことは誰にでも起こり得ます。しかし、泣き止まないからといって、激しく揺さぶらないでください。赤ちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられると、見た目にはわかりにくいですが、脳や網膜に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落とすこともあります。どうしても泣き止まない時は、赤ちゃんを安全な場所に寝かせて、その場を少しの間でも離れ、まず自分をリラックスさせましょう。

講演会のお知らせ

## 児童虐待防止推進講演会

どんなSOSにも寄り添いたい  
～誰にも言えない妊娠相談の現場から～

講師：中島孝子氏(一般社団法人にしんSOS東京代表理事)  
日時：平成30年11月1日(水)19:00～21:00  
場所：沖縄市民小劇場あしびな

感情的にならない子育て  
～子どもと向き合い、育むためのヒント～

講師：高畑希子氏(育児情報誌miku編集長)  
日時：平成30年11月20日(日)18:30～20:30  
場所：北部生涯学習推進センター(名桜大学)  
日時：平成30年11月21日(水)10:30～12:00  
場所：うるま市健康福祉センター うるみん

トラウマを抱えた子ども達  
～DV・性暴力・虐待から子ども達を守るために～

講師：中島孝子氏(NPO法人レシリエンス代表)  
日時：平成30年11月26日(月)18:30～20:30  
場所：八重山合同庁舎 2階大会議室  
日時：平成30年11月27日(火)18:30～20:30  
場所：宮古合同庁舎 2階講堂

生きる力をとりもどす  
～子どももおとなも孤立しない・させないために～

講師：森田ゆり氏(エンパワメント・センター主宰)  
日時：平成30年12月16日(日)13:30～16:00  
場所：沖縄南総合福祉センター 結ホール

全て入場無料・事前申し込み制

(電話でのお申し込み)

NPO 法人おきなわCAPセンター 電話：070-6591-7159

問い合わせ

青少年・子ども家庭課 電話：098-866-2174 FAX：098-868-2402



## 「感動は無敵大 南部九州総体 2019」の開催に向けて

2019年、高校生のスポーツの祭典「インターハイ」が、沖縄、鹿児島、熊本、宮崎の南部九州4県で合同開催されます。沖縄県では13の市町村において8競技10種目が開催されることになっていて、高校生日本一を目指して県内各地で熱戦が展開されます。選手・監督、大会役員、観客など総勢約15万人の来賓が見込まれるインターハイを皆で盛り上げていきましょう！



東海総体2018祝賀（高校生活動）

### ① 大会を支える高校生の取り組み（高校生活動）

インターハイでは、高校生がスポーツを「支える」立場から、主体的に大会の準備・運営に関わる「高校生活動」を展開することになっています。県内全日制の高体連加盟校64校に、学校推進委員会を設置し、現在500名余の高校生が推進員として活動しています。また、北部・中部・中部・南部・宮崎、八重山の6地区推進委員会と、その代表から成る開催推進委員会も発足しました。開催推進委員会委員長の杉野さん（開邦高校）は「1年生ですが、活動が充実するように精

進んでいきたい」と決意を述べていました。開催委員のメンバーは、これまで、今年7月の東海インターハイ沖縄や9月にパレットくもじ前で実施した「大会開催3000日前イベント」等に参加し、大会の広報PR活動などを行っています。今後は、お土産品の製作や華花芸術、環境美化等の活動を行うことになっており、大会成功に向け、た気運醸成の一翼を担っています。

### ② 大会のPRイベント

9月8日（土）、パレットくもじ前広場において、大会開催3000日前イベントを行いました。

大会のキックオフイベントと位置づけ、オープニングアトラクションのエイサーやダンス、高校

生が製作したカウントダウンボードによる点灯式、部活動生による沖縄県開催競技の紹介のみならず、司会進行や来賓者へのチラシ配布等、運営面も高校生が主体となっていました。

また、会場地市町村のPRブースに各競技選手への応援メッセージフラッグを設置したところ、県民の応援からたくさん熱いメッセージが届きました。応援メッセージフラッグは、今後、各会場地市町村で掲げることになっています。

その他、今大会の沖縄県応援キャラクターにもなっている花五マハエ、クマ朗くんや各市町村のマスコミも登場し、会場に華を添えました。

これからも高校生と一緒にさまざまなイベントでPR活動を行い、大会を盛り上げていきますので、県民の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

「南部九州総体 2019」  
公式ホームページ



大会開催3000日前イベント  
カウントダウンイベント点灯式



会場内でのチアリーダー



観客時のカチャーシー

問い合わせ

教育庁保健体育課  
全国高校総体推進室

電話：098-861-0002

FAX：098-861-0003



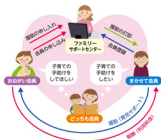


## 1 ファミリーサポートの仕組み

ファミリーサポートセンターとは、「子どもはみんな育てるものさあ〜」というキャッチフレーズのもと、おねがい会員(依頼会員)・まかせて会員(提供会員)が地域で支えあう仕組みです。おねがい会員の「子育ての困ったこと」や「手助けがほしい」に応じて、地域の大人(提供会員)が援助を行います。保育所開始前・終了後の送迎を伴う預かりや、保護者の病気・急用の際の預かりなど、子育て支援の隙間をうめる活動をしています。

センターでは、会員間の架け橋(調整役)となるアドバイザーが、両会員の声を聴きとり、適切な対応に努めています。

「人と人をつなぎ、子どもに笑顔を…」という願いを届ける優しい仕組みがファミ・サポです。



## 2 まかせて会員(提供会員)登録をしましょう!

ファミ・サポのお陰で「仕事を辞めずに済んだ」「実家のような安心感がある」など、おねがい会員(依頼会員)からも高い評価を受けています。

母(父)籍や子どもの笑顔に会える有償ボランティア活動に興味がある方、ぜひ、まかせて会員(提供会員)登録をしましょう。

なお、各センターでは、相互援助活動が安全で安心して行えるように、子育てサポーター講習会を実施しています。

## ファミ・サポに関する問い合わせはコチラ

1 沖崎市ファミリーサポートセンター	☎ 098-921-1234
2 那覇市ファミリーサポートセンター	☎ 098-857-8991
3 名護市ファミリーサポートセンター	☎ 0980-53-3926
4 宮古市ファミリーサポートセンター	☎ 0980-73-1966
5 うるま市ファミリーサポートセンター	☎ 070-5699-6733
6 渡嘉敷市ファミリーサポートセンター	☎ 098-870-0073
7 豊見城市ファミリーサポートセンター	☎ 098-850-0143
8 宜野湾市ファミリーサポートセンター	☎ 098-893-4463
9 北谷・嘉手納・北中城ファミリーサポートセンター	☎ 098-989-9763
10 南風原町ファミリーサポートセンター	☎ 098-889-3327
11 糸満市ファミリーサポートセンター	☎ 098-987-4009
12 石原市ファミリーサポートセンター	☎ 0980-87-0655
13 南城市ファミリーサポートセンター	☎ 098-947-3051
14 八重瀬町ファミリーサポートセンター	☎ 098-998-4000
15 豊田村ファミリーサポートセンター	☎ 098-988-2017
16 与那原・西原・中城ファミリーサポートセンター	☎ 098-988-1914
17 やんばる町村ファミリーサポートセンター	☎ 0980-43-0232
18 竹富町ファミリーサポートセンター	☎ 0980-87-6325
19 読谷村ファミリーサポートセンター	☎ 098-953-3525
20 久米島町ファミリーサポートセンター	☎ 098-985-7124

問い合わせ

子育て支援課 電話：098-866-2457 FAX：098-866-2433

広告